

# 小豆島中央病院だより

春のひざし

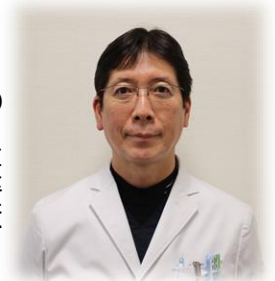
平素より当院の運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。おかげさまで、2016年4月の開院から6年が経過し、7年目を迎えることができました。

現在、医療を取り巻く環境は非常に厳しく、特にピークを増高しながら繰り返す新型コロナウイルス感染症の荒波に対し、公立・公的医療機関を中心にその対応に注力しており、通常診療との両立が課題となっている状況です。

当院も島内唯一の公立病院として、これまで感染患者の入院受け入れ、検査体制の確保等に病院スタッフが一丸となって取り組んでおり、今後も島民の皆様が安心して生活していただけるように、感染症が終息を迎えるまで、主体となって対応していきたいと考えております。

また、公立病院としての役割を果たす取り組みとして、救急医療、小児・周産期医療、災害医療、高度医療等の不採算分野を含む政策医療の充実に努めるとともに、QOL（Quality of Life:生活の質）にも配慮し、個々の患者さまに適した医療を提供してまいります。

近年盛んに唱えられている働き方改革に関しても、職員全体の健康管理、労務管理を最重要課題のひとつとして捉え、業務分担、省力化、組織体制の見直しを行うことが肝要と考えております。当院が健全な職場になることにより、今まで以上に職員一同、力を合わせて地域の皆さまに必要な医療を提供していきたいと考えておりますので、引き続きご理解とご支援のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



小豆島中央病院企業団 企業長 佐藤 清人

- 企業長 新年度のご挨拶
- 当院部署紹介
- こんにちは健診室です
- 院内研究発表会
- 手洗い講習 院内保育所 あずきっこ
- 生活と福祉 小豆島中央高校
- いのちの先生 安田小学校





## 内科外来



内科外来では月曜日から金曜日まで、午前中は初診・予約外来、午後は予約外来として診療枠を設けています。可能な限り島内で治療を完結できるように香川大学とも連携し、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、腎疾患、内分泌疾患、膠原病、脳神経内科疾患等の幅広い領域に対応できる体制を整えております。健診異常や生活習慣病、風邪などのプライマリーケア領域はもちろん専門医の診察が必要な疾患についても患者様に安心・信頼して受診していただけるように努めております。

また、施設設備や専門領域の問題等で当院での治療が困難な疾患や、患者様が他院での治療を希望される場合には、治療の遅れによって患者様の不利益にならないようスムーズに他医療機関との連携を行います。当院では最後まで安心して医療を受けられるよう訪問診療等の在宅医療にも取り組んでおりますので、いつでもご相談いただければと思います。

また、全国的に猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症についても、当院では感染症病床を確保し入院が必要な方に迅速に対応できるようにしています。外来診療においては新型コロナウイルス感染症の疑いのある方については別の場所で発熱外来を設けておりますので、感染が心配な方や体調に不安がある方皆様に安心して受診できる環境と考えています。新型コロナウイルス感染症のために必要な医療がうけられない、というのは避けたい事態です。体調に異変がある場合には先延ばしにせず、当院を受診していただければと思います。



## 脳神経外科外来



こんにちは。脳神経外科です。私たちは島内唯一の脳疾患、頭部外傷の専門チームとして島民のみなさんを脳の病気やケガから救うため日々診療を行っています。

高齢化が進む小豆島ではその中心となるのはやはり脳梗塞、脳出血など脳卒中治療です。脳卒中の患者さんは重症で意識障害や麻痺を伴いその多くが救急車で搬入されるため、私たちは救急治療専門チームでもあります。外来診療中に待たなしの脳卒中や頭部外傷の患者さんが搬入されることも多々ありその際にはこれら救急患者さんの治療を優先させていただくため外来患者さんには長時間お待ちいただくこともあります。残念ながら大病院のように脳外科医が大勢いる脳神経外科ではありません。チームとしては最小人数の構成です。確かに大病院と同等に行い得るすべての治療が行える訳ではありません。

3次救急病院への転院搬送を行うことも多くあります。これはうちのチームが力不足だからではなくマンパワーが十分ではないためそのような選択を取らざるを得ないためです。3次救急病院との脳外科連携の絆は太いものがあり、それを含めて治療方針を選択しています。

私たちは島民を脳疾患から守るため全力を尽くします。どうかこれからも温かい目で私たちを見守っていて下さい。



# こんにちは健診室です



2年以上続いているコロナとの共生。島民の皆様、ご自分の体を気遣っていますか？  
コロナ感染症が怖くて健診を受けようという気持ちになれず、気付かぬうちに病気になってい  
た・・・ということにならない様、病気の早期発見や予防のためにも、健診の機会を逃さず受け  
ましょう。

当健診科では、『密』を避けるよう日々の受診者の人数を制限し、換気や消毒などの感染防  
止策を徹底して行っていますので、安心してお越しください。受診の際、発熱や体調不良の場  
合は遠慮せずご相談ください。



健診室スタッフ

ていねいな説明を心がけています。  
よろしくお願いします。



岩藤 広美 先生



河合 稔 先生

島民の皆様、健診室でお会いしましょう。



藤岡 譲 先生

皆様の健康をおあずかりいたします。

## 院内研究発表会

令和4年2月26日

- 1.血液培養からBacillus cereus菌の検出による院内感染の実態調査・・・ICT
- 2.AYA世代をめぐるグリーンケア～直面する家族に必要な事柄・・・3階病棟
- 3.せん妄指示簿セット化への取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・4階病棟
- 4.外来の救急対応の現状と課題について  
～救急看護記録用紙の見直しによる看護の質の向上をめざして～・・・外来
- 5.抗菌薬の適正使用促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・薬剤部
- 6.地中海食について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・臨床栄養課
- 7.当院におけるコンピュータクロスマッチの現状報告・・・・・・・・臨床検査科
- 8.介護・看護のストレスチェック～この感情は私だけ？～・・・・・・特養
- 9.高齢者施設での終末期ケアとACP（人生会議）・・・・・・老健



2月最終土曜日に9題の研究発表を行いました。コロナ感染症対策の為、2年間は掲示での発  
表会でしたが、今年は感染症対策を講じ、対面での研究発表会を行いました。  
増田委員長の開会の挨拶、山口院長の講評、表彰式そして佐藤企業長の言葉で、閉会しました。





## 手洗い講習

令和3年12月23日 院内保育所「あずきっこ」

アルコール消毒、手指消毒、うがい等いつも以上に頑張っている「あずきっこ」のみんなに当院感染対策室 唐橋看護師が、手洗い講習を行いました。

紙芝居でのクイズに答え、手洗いうたを一緒に学び、実際に手洗いをした後ブラックライトで手洗いの出来ていない箇所を自分で確認しました。まだまだ先の見えないコロナ感染症を防ぐため、子どもたちに出来ることを伝えました。



## 生活と福祉

令和3年12月22日 小豆島中央高校

2年生を対象に感染症の予防と防護服の着脱について講習しました。参加した生徒からは、「コロナウイルスの特徴や知識などを知ることにより、対策の仕方考えることが出来ました。」

「ブルーライトの検査で、手や制服にどのくらい触っているかを知ってこれからは手洗いうがいを丁寧にしたい。」などの感想を戴きました。

コロナ禍によって多くの人々の生活が脅かされていますが、今は出来る事を個々人が協力しながら感染拡大を防ぎ、1日も早い終息を願います。



## いのちの先生

令和3年12月3日 安田小学校

安田小学校の1・2年生を対象に、アルコール消毒等、できる限りの感染対策を講じての授業を行いました。

笑いを交えながら、いのちの始まりの話から、赤ちゃんの大きさを目に見える形で、確認できるように工夫して一人一人に配って話をすると、みんな一生懸命に話を聞いていました。

自分の心臓の音を確認した時は「あっ発見」と弾む声が聞こえました。

児童の質問に答えた後、生まれた時の映像を映しながら、松尾助産師は「うまれただけで、100てん満点なので、色々な事にチャレンジして200てんにも300てんにもして下さい」とエールを送りました。

